

本校の SSH 事業の取組が 学事出版発刊 全国版教育誌 『月刊高校教育』に掲載されました！

本校の SSH 事業や探究活動について、学事出版発刊の全国版教育誌『月刊高校教育』の「ちょっと拝見 学校訪問」のコーナーに掲載されました！

5ページにわたる特集となっており、本校の SSH 事業の特徴の1つである、全校体制での探究活動の実践について取材がありました。本校では、設置されている3つの学科（文理探究科、普通科、家政科）の枠を越えて、また、理系・文系の枠を越えた SSH 事業を展開しており、それを全職員でサポートしています。本校の SSH 事業や探究活動に関する熱い思いについて、本校校長や担当職員のインタビューをもとに掲載がされています。

今後も「最先端の学びを日本の西端から創造」できるように、全職員、全生徒で SSH 事業を推進していきたいと思えます。

掲載された記事の内容は、次ページに載せております。



※学事出版の記事につきましては、無断で転載することを固く禁じます。
なお、学事出版との使用許諾条件に基づき、記事の前半のみを次ページに掲載しております。ご了承ください。



長崎県立大村高等学校

文理探究科へ学科改編

SSHの取組を学校全体で深める―

今回の訪問校は、長崎県立大村高等学校である。大村高校は、創立140年を迎える伝統校で県内外、各方面で活躍する卒業生を長きにわたり輩出してきた。現在は、文理探究科、普通科、家政科の三つの学科を備え、同地域の進学をめざす生徒のニーズに応えている。2018(平成30)年度からは、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)の指定を受け、主体的な学びを通して、今の社会に求められている科学的思考力や課題解決能力を育てている。

大村高校のSSHの特徴は、文理を問わず、すべての学科において取組を進めている点であり、それが学習や学校行

まり、人気を集める高校となっている。

校是は、「りやうどうふさ両道不岐」(二つの道に分かれておらず、本来一つである)。勉学だけ、部活動だけではなく、学校行事も含めすべての教育活動に力を入れ、バランスの取れた人間形成をめざしている。体育祭や五教祭(文化祭)などは生徒が中心となって企画運営している。部活動でも運動部・文化部いずれも県内にとどまらず全国レベルで活躍している。

特色ある3学科

同校を形づくる、特色ある三つの学科を簡単に紹介しよう。

▽文理探究科

文理探究科は、「理系・文系の枠を越えて、教科横断的な探究型学習に協働的に取り組むことで、高い進路目標の実現を目指す学科」(県教委)である。1年次は文理共通の科目を学び、2年次に「理

事、部活動に全力で取り組む校風と組み合わせ、主体的に学び行動する生徒を育てている。学校の取組について、満行洋介校長、探究SSH企画部主任の川久保晃一先生、文理探究科主任の緒方則彦先生にうかがった。

九州最古の学校として

大村高校は、1670(寛文10)年に設立された藩校「集義館」を源泉とする全国では7番目、九州では最古の学校といわれている。1884(明治17)年の私立大村中学校の開校から数えると創立140年の伝統がある高校である。1911年開校の大村実科高等女学校(その後、大村高等女学校に改称)と統合して、1948(昭和23)年に長崎県立大村高等学校となった。

1994(平成6)年に全日制理数科を設置後、数理探究科を経て、現在の全日制文理探究科へ学科改編を行っている

る。文理探究科は県内に6校あり、県の高水準な学習、探究活動の推進を担っている。現在は文理探究科2学級、普通科5学級、家政科1学級が設置されている。

2018年度から5年間のSSHの指定を受け、「教科横断型課題探究プログラム」と評価指導法(大村SCANプログラム)の研究開発」に取り組んだ。2023年度からは、SSH指定第Ⅱ期として「教科横断型探究プログラムと評価・指導法のSINKAによる科学技術人材育成方法の開発」をテーマに掲げ、取組を継続している。

近年は、スクールバスを巡回させる私立高校や長崎市内の有力な進学校との競合もあり、入学者獲得に苦戦をすることもあったという。それがこの数年、SSHに学校全体で取り組み、きめ細やかな指導を通じて生徒たちが主体的に学び成長する姿を見せることで、地元の中学生や保護者、中学教員などからの信頼が高